

第3章 基本理念および全体目標

基本理念

誰もが自分らしく幸せを感じられる「健康しが」の実現

～県民が、がんを知り、がんを予防し、がんになっても納得した医療・支援が受けられ、自分らしく暮らせる滋賀を目指して～

がん患者を含めた県民全体が、がんの予防およびがんの早期発見を進めるとともに、がんになっても、治療の説明を受けて選択ができ、納得した医療が受けられ、そのために必要な支援が受けられることで、自分らしく暮らせる滋賀を目指すことを基本理念とします。

全体目標

目標1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- がんの原因となることが明らかな喫煙対策、生活習慣の改善や感染症対策などによってがんの罹患者を減少させるようがん予防に取り組みます。
- 市町や職場、医療機関など様々ながん検診の機会を通じて、がんを早期発見して治療につなげることで、生活や生命予後の影響を最小限にします。
- がんの死亡率減少効果の明らかな「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づいたがん検診を進めるとともに精度管理に努めます。

目標2 患者本位のがん医療の実現

- がん医療は、がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、がん診療連携支援病院を中心としたがん医療の均てん化を継続して進めます。
- がん医療は、治療法、治療に伴う苦痛や副作用、年齢特性など患者個々に応じた診療支援が行われてきており、医学の進歩に対応した医療提供を進めます。
- がんゲノム医療をはじめとした高度ながん医療の提供を推進するとともに、患者本位のがん医療を展開することで、がん医療の質の向上に努めます。
- がん医療にかかる専門的な知識および技術を持つ従事者の配置を進めます。
- がん患者やその家族等の全人的苦痛を緩和するため、がんと診断されたときからの緩和ケアを推進していきます。

目標3 尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築

- がん患者や家族等の相談支援については、がん相談支援センターおよびがん相談窓口の設置、がん患者サロンの開設、ピアサポーター*の養成などを行い情報提供・相談支援の充実を進めます。
- 住み慣れた地域で必要な支援を受けることができる在宅医療を推進していきます。
- 就労中または就労を希望するがん患者が、休業や復職、離職防止、就労支援などが受けられるよう関係機関と連携した支援を進めます。
- 身体心理的・社会的苦痛と様々な苦痛を伴う外見変化に対し、アピアランスケアに取り組みます。
- 小児がん、AYA世代*（思春期・若年成人世代）の保健、教育、就労などに関する支援を行います。
- 医療・保健・福祉・介護・産業保健・就労支援分野が連携して支援を行う仕組みを構築することで、安心して暮らせる社会の実現を図り、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上に努めます。